

質疑応答

質問1

- Q1

- 「カルマンフィルターのフィードバック制御が多重になってもシェルスクリプトで書ける」とはどういう意味か

- A1

- 講演中で言及した以下の論文を使って説明します
 - <https://www.sea.jp/ss2021/download/11-SS2021.pdf>
 - 3ページ目 (P.75) の図1付近で、ひとつだけフィードバックがあるブロック線図をコマンドに対応させる手法を述べています。ここでは「名前付きパイプ」と「cuコマンド」への理解が重要です。すると図1は以下のように展開できます (次ページへ続く)

```
$ cat named_pipe | cmd -f named_pipe2 | cu -l /dev/G | tee named_pipe > y.output
```

質問1(続)

- A1

- (前ページからの続き)

- 単純なブロック線図とコマンドラインの関係がわかれば、次は7ページ目 (P.79)の図5と図6
およびその周辺の説明が参考になると思います。

質問2

- Q2

- ものグラミング手法は実際の多重フィードバックではどのように応用されているか

- A2

- 多重フィードバックへの応用はまだ研究室レベルでの応用しかありません。それは現場への応用ができないからではなく、そういう場面に関与する道を持ち合わせていないからというのが現実です。今回の講演のような場を経て、研究室レベルから現場レベルへの展開ができればと思っています。なお、小さな部品を組み合わせて大きなことを成し遂げる方法なので、研究室レベルでの実績と、各コマンドのロバスト化(予期せぬ状態になった時にも想定の範囲内で安全に振舞うこと)ができれば現場展開は可能だと考えています。

参考情報

HiveMQ

- HiveMQ GmbH
 - 会社紹介の冒頭
 - HiveMQ helps companies connect devices to the Internet.
 - 本社所在地
 - Ergoldingerstr. 2a 84030 Landshut Bavaria, Germany
 - 参考:<https://bit.ly/3xKxL9L>

MAKER活動

- 直近のMAKERイベント

- Maker Faire Tokyo 2022

- <https://makezine.jp/event/mft2022/>
- 期間: 2022年9月3日(土) ~ 9月4日(日)
- 会場: 東京ビッグサイト(西4ホール)

- NT金沢2022

- https://wiki.nicotech.jp/nico_tech/index.php?NT%E9%87%91%E6%B2%A22022
- 期間: 2022年6月18日(土) ~ 6月19日(日)
- 会場: 金沢駅東もてなしドーム地下広場 (金沢駅東口から徒歩1分)